平成３０年度　幼稚園経営方針全体構想図　　京都市立楊梅幼稚園

関連法令等
- 日本国憲法
- 障害者差別解消法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 幼稚園教育要領
- はばたけ未来へ!
京プラン（京都市基本計画）
- 京都市未来子どもプラン
- 「京都はぐくみ憲章」
- ≪学校における≫人権教育を進めるにあたって

学校教育の重点
～京都市の目指す子ども像～
伝統と文化を受け継ぎ，次代と自らの未来を切り拓く子ども
～「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める～

〇学校教育において重視する視点
〇学校運営の柱
〇学校教育の基本指針

教育目標
「健康で，心豊かに，自分で考え，いきいきと遊ぶ子どもの育成」

園児の実態

地域・保護者の願い

目指す教職員像
〇 明るく元気で，心温かな教職員
〇 的確な実態把握と共通理解を通して子ども一人一人のもっている良さや可能性を引き出す教職員
〇 専門性を自覚し，学ぶ意欲をもって，日常的に OJT，OFFJT で高め合う教職員
〇 カリキュラム･マネジメントの視点を意識して目標の実現を図る教職員

目指す子ども像
・明るくさまざまなことに心を動かし，感性豊かな子ども　・自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ子ども　・自分でできることを喜び，考え行動する子ども　・遊びを楽しみ，夢中になる子ども　・人や物，自然を大切にする子ども

目指す幼稚園像
〇 一人一人が大切にされ，共に育ち合う幼稚園
〇 保護者，地域と共に子育てを進める幼稚園
〇 教職員が協働する幼稚園

園内研究主題
幼稚園と小学校の接続を促すために
～健康な心と体（幼児期の終わりまでに育ってほしい姿）に着目して～

下京雅小学校との連携　　特色ある幼稚園づくりの推進Ａ
・平成３２年度からの新校園舎で学び育つ両校園として，子どもの発達を見通し，各教育の相互理解と協働ができるように公開保育や合同研修の充実を図る。
・互恵的な，子ども同士の顔の見える交流活動を計画的に進めると共に，幼稚園における運動遊びとジャンプアップ（下京雅）がつながっていけるよう保育計画を立てる。

子どもの命（LIFE）を守りきる
～安心して意欲的に遊び，自己発揮する中で～
・学期初めや安全指導の日を中心に，園内環境の安全点検を実施し，保育の見直しと創造（ＰＤＣＡ）を教職員が主体的に進める。
・幼児期にふさわしい遊び，幼児期にこそ経験させたい活動等を計画的に用意し，遊び込み，関わり合いが生まれるようにする。
・家庭とも連携を取り，一人一人を細やかに見取り，認め，よりよい集団生活となるように関わる。
・植物，動物の世話や触れ合い，いろいろな人との関わりなどを通して互いを大切にしようとする心情・意欲・態度を育む。

特色ある幼稚園づくりの推進Ｂ
・心豊かに遊べる園内環境の充実・創造を図る。施設の特色を活かした総合的，創造的な取組を推進する。
・地域の自然，歴史，伝統，文化等に触れ，有隣や醒泉開智等地域に親しみをもてるような機会を図る。

「自ら学ぶ力」「自ら律する力」を高める保育
・夢中になり主体的に遊び込める環境構成をし，自分で感じ，考え，行動し，自立につながるような保育を展開する。
・保育環境を工夫し，体を十分動かして遊ぶ心地よさや満足感，達成感を味わい，自信につながるような保育を展開する。
・さまざまに挑戦し，達成感を味わいながら自立や自信につなげる保育を展開する。
・家庭と連携し，「めざせ絵本 100 冊」を達成する。
・自己発揮と自己抑制の調和を基盤として，安心や折り合う心や信頼を得られる関わりを重視する。

保護者・地域との連携の推進
・PTA，おやじの会，学校運営協議会との連携を図る。
・家庭教育講座・参観等，「開かれた幼稚園」の発信を充実する。
・地域の諸行事や参観や園内行事への参加，発信を通して「地域に開かれた教育課程」の実現を図る。

校種間連携の推進
洛央・下京渉成小学校との連携
・計画的，互恵的な交流活動や連絡，連携の推進や互いの教育の相互理解，なめらかな接続をめざす連携を図る。
・教員による互いの保育や行事等の参観で，互いの教育の実態を知り，相互理解を図る。
中学生，大学生等との交流
・中学生のチャレンジ体験学習，教育実習等の受け入れや交流を通して，より一層遊びや経験の幅を広げる。
京都国際フランス学園との交流
・日常的な情報交換と互恵的な交流活動の推進を図る。

子どもや家庭に対する総合的・継続的な支援
・未就園児の園庭開放や教育相談，社会福祉協議会主催の子育て支援活動参加，下京子どもはぐくみ室との連携等を通して子育て支援センターとしての役割を充実する。
・預かり保育の充実を図る。
・支援を要する子どもへの総合的で継続的な支援や「就学支援シート」を活用し連携する。

学校評価の活用，教育活動の改善
・教育目標を捉えた評価項目を策定し，内部評価，関係者評価を実施する。
・学校評価の結果分析と公表をし，保育改善へ活用する。

園長　奥　景子